

平成28年11月25日  
法務省人権擁護局

### 第36回全国中学生人権作文コンテスト中央大会の表彰等について

<u>主 催</u>	法務省，全国人権擁護委員連合会
<u>後 援</u>	文部科学省，一般社団法人日本新聞協会，日本放送協会，公益財団法人日本サッカー協会
<u>協賛・協力</u>	公益財団法人人権教育啓発推進センター，公益財団法人人権擁護協力会，公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
<u>応募者数</u>	今回の大会には，7,338校の学校から，972,553名の応募があった。 ※資料1参照
<u>応募作品</u>	「子どもに関する問題」に関する作文が応募総数全体の35.4%（344,415編），中でも「いじめ」に関する作文が28.3%（275,098編）と最も多くなっている。 次いで，「障害のある人に関する問題」に関する作文が13.2%（128,651編），「戦争・平和」に関する作文が12.3%（119,738編），「差別問題一般」に関する作文が7.5%（72,494編），「高齢者問題」に関する作文が4.9%（47,828編）となっており，これらの作文で応募総数全体の7割以上を占めている。 ※資料2参照
<u>審査経緯</u>	各都道府県単位（北海道については，札幌法務局及び函館，旭川，釧路の各地方法務局単位）で地方大会を実施し，優秀作品103編が中央大会へ推薦された。
<u>中央大会審査員</u>	作 家 落 合 恵 子（審査員長） 映画監督 山 田 洋 次 一般社団法人日本新聞協会事務局長 國 府 一 郎 日本放送協会解説委員室 解説委員 清 永 聡 文部科学省初等中等教育局視学官 湯 川 秀 樹 全国人権擁護委員連合会会長 内 田 博 文 法務省人権擁護局長 萩 本 修

<u>表 彰</u>	内閣総理大臣賞	( 1 編)
	法務大臣賞	( 1 編)
	文部科学大臣賞	( 1 編)
	法務副大臣賞	( 1 編)
	法務大臣政務官賞	( 1 編)
	全国人権擁護委員連合会会長賞	( 1 編)
	一般社団法人日本新聞協会会長賞	( 1 編)
	日本放送協会会長賞	( 1 編)
	法務事務次官賞	( 3 編)
	法務省人権擁護局長賞	( 2 5 編)
	奨励賞	( 6 7 編)
	※各賞受賞者には、賞状及び記念品を贈呈	

審査結果 資料3のとおり

発 表 平成28年11月25日(金)

表 彰 日 平成28年12月4日(日)  
受賞者の居住する都道府県の法務局・地方法務局を通じて伝達する予定

そ の 他 法務事務次官賞以上の入賞作品(11編)については、「第36回全国中学生人権作文コンテスト入賞作文集」として取りまとめ、平成29年2月頃に刊行の予定